

条南地区振興協議会 まちづくり通信 Vol.45

発行日：令和5年4月1日

名取市閑上の復興と防災の取組みを視察



2月27日（月）、条南地区振興協議会が名取市閑上地区の復興状況と防災の取組みについて視察研修を行いました。視察には気仙沼防災教育推進委員会と九条・四反田地区自主防災組織からも参加し、震災から12年が経過し区画整理事業により整備された街並みの様子を確認するとともに、「一般社団法人ふらむ名取」の代表者の方から震災当時の状況や体験談、復興事業で経験した様々な課題など貴重な説明を聞くことができました。

閑上地区は、閑上港と名取川に面した平坦な土地で、港や貞山運河によって古くから栄え、仙台市のベッドタウンとしても賑わっていましたが、東日本大震災で壊滅的な被害を受け、震災後の復興事業により貞山運河から内陸側を嵩上し、災害公営住宅や戸建住宅、学校、公民館などの公共施設、商業施設が整備される一

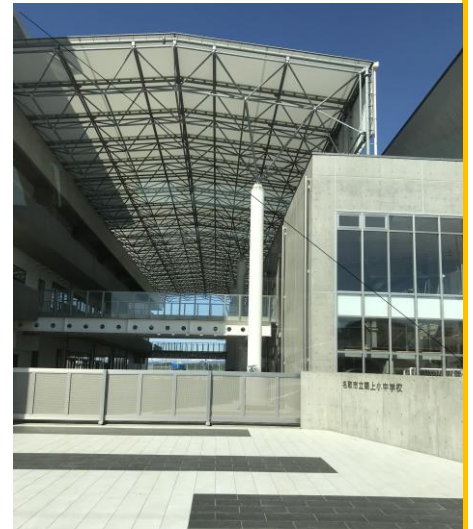
方、貞山運河から海側の広大な土地には水産加工団地や震災メモリアル公園などの事業が進められています。

地域では、公民館や災害公営住宅の屋上を避難場所に指定しているほか、閑上小中学校（義務教育学校）を新設する際、4階に避難所を兼ねた特別教室を配置するとともに、屋外からの2か所を含めた5つの階段があり、外部からスムーズに避難できるような設計になっています。

また、避難道の確保にも工夫をしており、海側から閑上小中学校まで726mの「緑道」を整備し、車輛の侵入を制限した道沿いに植栽やベンチが置かれ、日常的には通学路や散策路として利用し、災害時には避難道路になります。

河口付近には、水防センターを兼ねた震災復興伝承館や、飲食店が集まった、「かわまちてらす閑上」があり、震災と復興のようすを語り伝えると同時に、新しい集客スポットとなっています。

平地が広がる閑上地区と、坂の多い気仙沼とでは防災の考え方や方法も違ってきますが、『1人も犠牲者を出さない』という思いは同じであり、地域に合った取組みが必要になります。





不動の沢に防犯カメラを設置

西地区防犯協会では3月22日（水）、不動の沢交差点付近に熊長商店さんの協力により防

犯カメラを設置しました。

同交差点は、気仙沼高校などの通学路として人や車輛の交通量が多い場所で、条南地区では4か所目となる防犯カメラの設置は、防犯対策として効果が期待されています。



健康体操とお茶っこ会

3月15日（水）、田中3区自治会の「健康体操とお茶っこの会」が、やまと商店2Fホールで開かれ、16名（男性6名）の参加がありました。コロナの影響で伸び伸びになっていましたが、行動制限の緩和が広がってきたことから、今年度2回目を開くことが出来ました。

今回は、簡単な脳トレ体操と椅子に座って軽い体操をしました。指導した気仙沼市地域包括センターの及川所長から、「間違ってもいいので、継続することが大切」とのお話があり、実際に、手の運動に足の運動を加え、段々ハードルを上げていくと、こんがらがって笑いが起きました。集まった皆さんからは、「みんなでやると楽しい」という意見が多く、中には「免許の更新よりハードだ」と言いながら、チャレンジする方もいて、春の暖かな陽射しが差し込む中、終始和やかな一時を過ごしました。

春の訪れを前に清掃活動

2月28日（火）、漆原会（本郷1区の老人会）が、漆原公園の清掃活動を行い、10名が参加しました。春に向けて、冬季に控えていたグラウンドゴルフを楽しむ為に、会員たちは、水分を含んだ枯葉の除去などをしました。会長の小野寺茂夫さんは、「コロナも落ち着いてきており、暖かくなって外で運動できるようになりました。新しい会員も増えたので、今年は公園内の桜の下で歓迎会を予定しています。」と話していました。



駒場公園に新しいトイレが完成

駒場公園のトイレ改修工事が、3月中に終了し、「男女別・多目的トイレを備えた水洗式」になりました。小さい子供達も多く利用することから、とても喜ばれています。都市計画課によると、今年度は、田中公園のトイレも同じように水洗式に改修する予定です。

発行：条南地区振興協議会

〒988-0053 気仙沼市田中前 4-8

気仙沼中央公民館条南分館内

☎ 080-9331-9748

✉ jyounanshinkou@gmail.com



Twitterはこちらから



Facebookはこちらから

